

ワイド展望映像



■ JR 東日本商品化許諾済

ANRS-72383B / 本編 110 分 4,950 円 (税込)
ANRS-72382 / 本編 110 分 3,981 円 (税込)

■ 撮影日 / 2023 年 5 月 10 日 (水) 晴

■ 区間 / 松本 (5:52 発) ⇒ 辰野 (6:31 着 / 7:27 発) ⇒ 岡谷 (7:38 着) 148M~150M
岡谷 (8:11 発) ⇒ 松本 (9:05 着) 155M 往復とも E127 系 2 両

■ 本編の概要 ■

早朝の松本車両センターから出区して、松本駅のホームに入線。発車すると塩尻までは篠ノ井線进行、次の南松本は貨物ヤードが広がる。塩尻で名古屋方面に向う中央西線が右へ離れて行き、旧駅構内で「本線」と別れ、通称「辰野線」に入って行く。Ωカーブで山裾を回り、善知鳥トンネルで峠を越え、長閑な山里区間を走り、右から飯田線が近づいてくると辰野に着く。辰野を発車すると、天竜川に沿って走り、川岸を出てしばらくすると、「本線」に左右を挟まれる形で並走し、終点の岡谷に向う。岡谷到着後は折り返して、再び松本への帰路につく。松本到着後には列車番号を変え、大糸線の松本～南小谷の往復運用に就きます。その模様は既発売の「大糸線運転席展望 松本⇒南小谷」、「大糸線運転席展望 南小谷⇒松本」にてご覧いただけます。

◆ 展望本編の主なキャプチャ画像 ◆

※本編は 4K30P 規格での撮影のため、車窓の一部に残像を感じることがあります。



早朝の松本車両センターを出区。一旦、松本駅を通り過ぎ、後進してホームに入線する。



塩尻を発車。名古屋方面への中央西線が右へ大きくカーブして離れて行く。



旧塩尻駅構内で本線と別れ、通称「辰野線」に踏み入れる。



180 度のΩカーブで矢沢川の谷間を越えて行く。(塩尻～小野)



この辺りに、スイッチバック式の東塩尻信号場 (1983 年廃止) があった。



サミットの善知鳥トンネル (1678m) に入る。



清々しい早朝の空気感が伝わってくる、長閑な里山の区間を進んで行く。



辰野に到着。広い構内と留置線の多さが、かつての栄華を偲ばせている。



天竜川を渡る。この辺りは上流なので、川幅がまだ狭い。(辰野～川岸)



左右を「本線」に挟まれて並走する。上空を横切るのは長野自動車道。(川岸～岡谷)



終点の岡谷は、行き止まり式の 0 番ホームに到着。折り返し、再び松本へ向う。



辰野では、飯田線から直通してくる JR 東海の 313 系と顔を合わせる。



辰野を発車すると、飯田線が左へ分かれて行く。



小野で同僚の E127 系とすれ違う。長いホームが侘しげだ。



塩尻に到着。左側には名古屋へ向う 383 系「しなの」号の姿がうかがえる。



南松本は貨物ヤードが広がり、EF64 や HD300 も目に留まる。松本まで、あと一息だ!

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承下さい。